

Windows 3.1 でのプリンタについての追加事項

この説明ファイルには、『Microsoft Windows 機能ガイド』やオンラインヘルプで解説されていない、プリンタについての情報が記述されています。このファイルの項目の中には、PostScriptなどの、特定のプリンタモデルやプリンタの種類に固有な情報もあります。また、拡張文字の印刷など、印刷についての一般的な事柄についても解説しています。

プリンタ関連以外の追加情報を参照するには、このファイルの最後にある“ほかの説明ファイル”の項目をお読みください。

ライトを使ってこの文書を読むには

ライトのウィンドウサイズを最大表示すると、文書が読みやすくなります。最大表示にするには、ライトのウィンドウの右上隅にある最大表示ボタンをクリックしてください。または、ライトのウィンドウの左上隅にあるコントロールメニューを開いて(**Alt + Space** キーを押して)、[最大表示] コマンドを選んでください。

文書を移動させるには、**PageUp** キーまたは **PageDown** キーを押すか、ライトのウィンドウの右側にあるスクロールバーの上下のスクロールボタンをクリックしてください。

この文書を印刷するには、[ファイル] メニューから [印刷] コマンドを選んでください。

ライトの使い方のヘルプを参照するには、**F1** キーを押してください。

ほかの説明ファイルを参照するときは、[ファイル] メニューから [開く] コマンドを選び、ファイルを選んでください。

目次

このファイルには、印刷やプリンタ関連の次の項目があります。

- 1.0 拡張文字や国別文字の印刷
- 2.0 Windows 3.0 のレーザービーム プリンタ ドライバの更新
- 3.0 プリンタのディップ スイッチの設定
 - 3.1 キヤノン バブルジェット BJ-10 シリーズ
 - 3.2 Windows 3.1 でサポートされる EPSON シリアル プリンタ
- 4.0 PostScript プリンタおよびカートリッジについての注意事項
 - 4.1 PostScript プリンタの組み込み
 - 4.2 ほかの PostScript プリンタのための組み込みのサポート
 - 4.3 UNIX での PostScript プリント ファイルの印刷
 - 4.4 PostScript プリンタ フォントの代わりに TrueType フォントを使った印刷
 - 4.5 TrueType フォントを PostScript プリンタにダウンロードするときの制御
 - 4.6 PostScript プリンタのタイムアウトの設定
 - 4.7 ランドスケープ モードで印刷するときの EPS ファイルの用紙方向の設定
 - 4.8 Phoenix PostScript 互換プリンタまたはカートリッジの使い方
- 5.0 Hewlett-Packard、キヤノン、NEC の各種プリンタについての注意事項
 - 5.1 Hewlett-Packard DeskJet 500 プリンタ ドライバの使い方
 - 5.2 キヤノン バブルジェット BJ-10 シリーズによるグラフィックス印刷
 - 5.3 キヤノン LIPSIII プリンタ ドライバ Ver.3.00 について
 - 5.4 NEC 製プリンタ使用時の注意事項
- 6.0 そのほかのプリンタおよびフォント パッケージについての注意事項
 - 6.1 EPSON シリアル プリンタ使用時のフォントの使い方
 - 6.2 Bitstream Facelift 1.0 使用時のプリンタ設定の変更
 - 6.3 Windows 3.0x での NEC PR201 プリンタ ドライバとの非互換について
 - 6.4 Windows 3.0x でのキヤノン LIPSIII (C_B406S.DRV) プリンタとの非互換について
 - 6.5 プリンタケーブルについての注意事項
 - 6.6 Windows アプリケーションから印刷を行う場合の注意
- 7.0 その他
- 8.0 ほかの説明ファイル

1.0 拡張文字や国別文字の印刷

Windows では、キーボードから入力する 128 種類の標準 ASCII 文字のほかに、Windows の文字コード表による拡張文字や国別文字を使うことができます。文字コード表について、詳しくは『Microsoft Windows 機能ガイド』の第 12 章「いろいろなアクセサリ」を参照してください。

Windows がファイルの内容を印刷するとき、実行中のアプリケーションから入力された文字は、Windows の文字からプリンタが持つ適切な文字に変換されます。プリンタが同じ文字をサポートしているときは、その文字が印刷されます。サポートしていないときには、ピリオドやほかの代替文字などが代わりに印刷されます。プリンタが拡張文字をサポートしているかどうかを判断するには、プリンタのマニュアルを参照するか、または実際に印刷をして確かめてください。

注意: この制限事項はプリンタのハードウェア フォントにだけ適用されるものです。Windows が提供するフォントでは、拡張文字が印刷されます。

2.0 Windows 3.0 のレーザービーム プリンタ ドライバの更新

Windows を Windows 3.1 に更新してレーザービーム プリンタを組み込んだときは、プリンタ ドライバを Windows 3.1 に更新する必要があります。以前のバージョンのレーザービーム プリンタ ドライバは TrueType フォントをサポートしていません。レーザービーム プリンタ ドライバをまだ更新していない場合には、コントロール パネルの [プリンタ] コマンド、またはプリント マネージャの [プリンタの設定] コマンドを選んで、ドライバの更新ができます。詳しくは『Microsoft Windows 機能ガイド』の第 5 章「プリント マネージャ」、または『お使いになる前に』の第 4 章「困ったときは」を参照してください。

3.0 プリンタのディップ スイッチの設定

以下のプリンタ モデルでは、Windows 3.1 で印刷を正常に行わせるため、ディップ スイッチの正しい設定が必要です。プリンタを組み込む前に、これらのプリンタのディップ スイッチの設定が正しいかどうか確認してください。

3.1 キヤノン バブルジェットプリンタ

キヤノン BJ プリンタのディップ スイッチは以下のように設定してください。

BJ-10v	ピン 4 を ON、6 を OFF
BJ-10v Select/Custom	ピン 4 を ON、6,11 を OFF

BJ-10v Lite	ピン 4 を ON、6,11 を OFF
BJ-15v	ピン 4 を ON、6,12 を OFF
BJ-300J/330J	ピン 3-7 を ON、1-7 を OFF

BJ-10v Select/Custom、BJ-10v Lite、BJ-15v は BJ-10v(ESC/P)モードでご使用ください。

BJ-300J/330J では E.J コントロール カード「BJV-1000/800」が必要です。

3.2 Windows 3.1 でサポートされる EPSON シリアル プリンタ

EPSON のシリアル プリンタでは、すべて次のようにディップ スイッチを設定してください。

自動改行	: OFF
1 インチ ミシン目スキップ	: OFF

4.0 PostScript プリンタおよびカートリッジについての注意事項

この節では、PostScript プリンタの注意事項について説明します。

4.1 PostScript プリンタの組み込み

PostScript プリンタを組み込むときは、[プリンタの設定] ダイアログ ボックスの [組み込むプリンタの選択] の一覧から、[PostScript プリンタ] ではなく必ずプリンタの機種名を選んでください。PostScript プリンタを選んだ場合、印刷時に問題が起こることがあります。しかし、Finale (CODA 製)をお使いになるときは、[PostScript プリンタ] でもかまいません。

4.2 ほかの PostScript プリンタのための組み込みのサポート

[プリンタ] ダイアログ ボックスの [組み込むプリンタの選択] の一覧にない PostScript プリンタをお使いになるときは、プリンタ用の Windows PostScript 定義(WPD)ファイルを組み込むことが必要です。これを行うには、コントロール パネルの [プリンタ] コマンド、またはプリント マネージャの [プリンタの設定] コマンドを選んで、[組み込むプリンタの選択] の一覧から [一覧にないプリンタや更新されたプリンタ] を選んでください。

Windows 3.1 では、WPD ファイルを組み込むための OEMSETUP.INF ファイルが必要です。このファイルのあるフロッピー ディスクをドライブ A: に挿入し、その後プリンタの設定の指示に従ってください。プリンタの組み込みについて、詳しくは『Microsoft Windows 機能ガイド』の第 5 章「プリントマネージャ」を参照してください。Windows 3.0 で作成した WPD ファイルがあるときには、OEMSETUP.INF ファイルは必要ありません。

4.3 UNIX での PostScript プリント ファイルの印刷

PostScript プリンタ ドライバは、すべての印刷ジョブの最初に **Ctrl + D** キーの組み合わせを挿入して、プリンタをリセットします。UNIX システムは **Ctrl + D** キーの組み合わせをエンド オブ ファイル文字(EOF)として認識するため、PostScript プリンタ ドライバを使って作成した印刷ファイルは UNIX では印刷できません。これを解決するには、WIN.INI ファイルの [ModelName,Port] セクションに次の設定を追加して、印刷ジョブから **Ctrl + D** キーの組み合わせを削除してください。(ModelName は PostScript プリンタの機種名です。)

CtrlID=0

WIN.INI ファイルの編集について、詳しくは WININI.WRI 説明ファイルをお読みください。

4.4 PostScript プリンタ フォントの代わりに TrueType フォントを使った印刷

通常、PostScript プリンタ ドライバは文書中のフォントを判定する能力を持ち、印刷時のフォントとして、Windows の TrueType フォント、プリンタ内蔵のフォント、およびダウンロードされたソフト フォントの中から適切なものを選び出して、それを使用します。

しかし、次のような場合、プリンタ ドライバは Windows の TrueType フォント、またはプリンタ内蔵のフォントのいずれかを使用します。

* Times New Roman など、Windows の TrueType フォントと同じ名前を持つ内蔵型 TrueType フォントを含む、True Image プリンタを使うとき。

* Windows 3.0 を使って作成した文書で、サポートされなくなったフォント

(Tms Rmn など)を含むものを Windows 3.1 を使って印刷したいとき。この場合、プリンタ フォントでは Times が、Windows のフォントでは Times New Roman が、それぞれ Tms Rmn に最も近いフォントであり、これらのいずれも印刷に使うことができます。

デフォルトでは、プリンタ ドライバが Windows の TrueType フォント、またはプリンタ フォントのいずれかを利用できるとき、ドライバはプリンタ フォントのほうを使用します。Windows の TrueType フォントを使いたいときには、WIN.INI ファイルの [ModelName,Port] セクションに次の設定を追加してください。(ModelName は PostScript プリンタの機種名です。)

ttfavor = <1>

再びプリンタ フォントを使うときは、この値を 0 にしてください。

WIN.INI ファイルの編集について、詳しくは WININI.WRI 説明ファイルをお読みください。

4.5 TrueType フォントを PostScript プリンタにダウンロードするときの制御

PostScript プリンタ用のオプション設定をするときには、TrueType フォントを Adobe Type 1 フォントとしてダウンロードするように指定できます。これを行うには、PostScript プリンタドライバ用の [高度なオプション] ダイアログ ボックスで、[プリンタへの新規送信] コマンドを使います。この設定により、比較的小さい TrueType フォントはビットマップとして印刷され、大きめの TrueType フォントはアウトライン フォントとして印刷されるようになります。

WIN.INI ファイルの **MinOutlineEppem** の設定を使えば、印刷のときにビットマップとして印刷するか、またはアウトライン フォントとして印刷するかを決める正確な基準を(文字 M のポイント数で)指定することができます。このためには、WIN.INI ファイルの [ModelName,Port] セクションに次の行を追加してください(ModelName は PostScript プリンタの機種名です)。

minoutlineeppem = <number>

デフォルトの ppm (per pixel em) 値は 101 です。この値よりも小さいフォントを指定した場合、ビットマップがダウンロードされ、この値よりも大きい

フォントを指定した場合はアウトライン フォントがダウンロードされます。プリンタのメモリを節約したいときは値を減らしてください。逆に、大きなポイント サイズで高品質のフォント印刷を実現したいときには、値を増やしてください。ポイント数を増やすと印刷時間が速くなりますが、その分多くのメモリが必要となります。

WIN.INI ファイルの編集について、詳しくは WININI.WRI 説明ファイルをお読みください。

4.6 PostScript プリンタのタイムアウトの設定

PostScript プリンタの中には、複雑な文書を印刷するときに高いタイムアウト値を要求するものがあります。プリンタの設定時に、[高度なオプション] ダイアログ ボックスで [PostScript のエラー情報を印刷] チェック ボックスを選んで、タイムアウトのメッセージを印刷させる場合に、プリンタのタイムアウト値を増やしてみてください。プリンタのタイムアウト値を設定するには、WIN.INI ファイルの [ModelName,Port] セクションに次の行を追加してください。(ModelName は PostScript プリンタの機種名です。)

timeout = <秒数>

たとえば、LPT1 に接続している Apple LaserWriter IINT に 10 分のプリンタタイムアウト値を設定したいときは、WIN.INI ファイルの [Apple LaserWriter IINT,LPT1] セクションに次の設定を追加します。

timeout=600

注意: タイムアウトの設定と、[プリンタの接続] ダイアログ ボックスの [タイムアウト時間の設定] とは互いに無関係です。 **timeout** で設定した値はプリンタのタイムアウト値を決めるものです。これに対して、[プリンタの接続] ダイアログ ボックスで指定する [タイムアウト時間の設定] は、Windows のタイムアウト値を決定します。

プリンタの設定、および Windows の [タイムアウト] オプションの設定について、詳しくは『Microsoft Windows 機能ガイド』の第 5 章「プリント マネージャ」を参照してください。また、WIN.INI ファイルの編集については WININI.WRI 説明ファイルをお読みください。

4.7 ランドスケープ モードで印刷するときの EPS ファイルの用紙方向の設定

インポート ファイルをサポートしているアプリケーションから横向きで印刷をする場合、インポートされたイメージ(EPS ファイルなど)の用紙位置や用紙方向が正しく設定されないときには、WIN.INI ファイルの [ModelName,Port] セクションに次の行を追加してみてください。(ModelName は PostScript プリンタの機種名です。)

LandScapeOrient=270

WIN.INI ファイルの編集について、詳しくは WININI.WRI 説明ファイルをお読みください。

4.8 Phoenix PostScript 互換プリンタまたはカートリッジの使い方

Phoenix PostScript 互換のプリンタまたはカートリッジを使って TrueType フォントを印刷すると、間違った文字が印刷されるなどの問題が起こることがあります。このようなときには、PostScript プリンタドライバ用の [高度なオプション] ダイアログ ボックスの [プリンタへの新規送信] コマンドで、[ビットマップ (Type 3)] を選んでください。プリンタのオプションの設定について、詳しくは『Microsoft Windows 機能ガイド』の第 5 章「プリント マネージャ」を参照してください。

5.0 Hewlett-Packard、キヤノン、NEC の各種プリンタについての注意事項

この節では、Hewlett-Packard、キヤノン、NEC の各種のプリンタを使った印刷についての注意事項を説明します。

5.1 Hewlett-Packard DeskJet 500 プリンタ ドライバの使い方

HP DeskJet 500 プリンタに付属の HP DeskJet 500 プリンタ ドライバを使うときには、300dpi で印刷するために解像度の設定を調整する必要があります。これを行うには、まずコントロール パネルの [プリンタ] コマンド、またはプリント マネージャの [プリンタの設定] コマンドを選んで、[プリンタの設定] ダイアログ ボックスで解像度の設定を調整してください。それでも正常に動作しないときは、WIN.INI ファイルの [DJ500,port] セクションに次の行を追

加してください。

prtresfac=0

WIN.INI ファイルの編集について、詳しくは WININI.WRI 説明ファイルをお読みください。

5.2 キヤノン パブルジェット BJ-10 シリーズによるグラフィックス印刷

360x360 dpi のグラフィックス モードで印刷していて、文書中のグラフィックス イメージの一部が失われるときには、グラフィックス イメージの密度を制御するディップ スイッチ (エコノミー モード) が OFF に設定されているか確認してください。ただし、BJ-15V は除きます。

5.3 キヤノン LIPSIII プリントドライバ Ver.3.00 について

対象プリンタ

キヤノン・レーザショット LIPSIII 搭載モデル

LBP-A404/A404E/B406S/B406D/B406E/B406G/A304E

LBP-A404/B406S/B406D では拡張 ROM ボード等が必要です。

印刷設定

[給紙方法]

ご使用のプリンタがサポートしている給紙方法の中から使用するものを選択します。

[用紙サイズ]

ご使用のプリンタがサポートしている用紙サイズの中から使用するものを選択します。

[用紙方向]

用紙の方向を選択します。

[解像度]

出力データの印刷解像度を選択します。

[オプション]

プリンタおよびプリンタドライバの各種オプションの設定を行います。

[フォント カード(2 max.)]

プリンタに装着してあるオプションフォントカードを指定します。最大2書体まで選択可能です。反転表示の状態で選択となります。

[TrueType フォント]

TrueType フォント出力のための設定を行います。TrueType フォントに対する処理は次の3通りです。

(1) TrueType フォントをそのまま印字

ディスプレイに表示されているフォントと印字結果は一致します。

(2) プリンタ フォントを優先にして、自動的に置き換えて印字

ディスプレイに表示されているフォントも TrueType フォントから置き換えられます。ディスプレイ上のフォントと印字結果は必ずしも一致しません。

(3) 任意でプリンタ フォントに置き換えて印字

ディスプレイの表示は TrueType フォントですが、ディスプレイ上のフォントと印字結果は設定により必ずしも一致しません。

設定方法

[TrueType フォント] を選択します。

TrueType フォントをそのまま印字する場合

- (1) [プリンタ フォントで出力][フォント置き換えテーブルを使用して出力]とも選択しません。

TrueType フォントはプリンタ フォントを優先にして、自動的に置き換えて印字する場合

- (1) [プリンタ フォントで出力]のみを選択します。

TrueType フォントを任意でプリンタ フォントに置き換えて印字する場合。

- (1) [フォント置き換えテーブルを使用して出力]のみを選択し [フォント置き換えテーブルの設定] を選択します。
- (2) [フォント置き換えテーブルの設定] ダイアログ ボックスが表示さ

れます。

- (3) 左側の [TrueType フォント] ボックス内に表示されているフォントを右側にある [プリンタ フォント] ボックス内に表示されているフォントに置き換えます。フォントはすべてそれぞれに任意の設定ができます。

[デフォルト]

任意に設定したフォント置き換えテーブルの設定を、自動選択によるフォントの置き換えに変更し、設定を上書きします。

欧文フォントから日本語フォントに置き換える場合や日本語フォントから欧文フォントに置き換える場合には、正常に印刷されないことがあります。

[カード追加]

[フォント カード (2 max.)] にリストされていないフォント カードを追加する場合に使用します。

[カード追加] を選択します。[LIPS プリンタフォントカード・インストール] ダイアログボックスが開きます。

オプション・フォント・カードの追加

- (1) [フォント・カード追加] ボタンを選択します。
- (2) [フォント・カード追加] ダイアログボックスが開きます。フォントカード ファイルの入ったディスクをフロッピー ディスクドライブに入れるか、パス名を指定します。[OK] ボタンを押します。
- (3) [LIPS プリンタフォントカード・インストール] ダイアログ ボックス右側のテーブルにフォント名が表示されます。
- (4) 必要なフォント ファイル名を選択し、[追加] ボタンを押します。
- (5) [フォント・カード追加] ダイアログ ボックスが表示されます。フォント カードのコピー先をキーボードから入力し、[OK] ボタンを押します。
- (6) [終了] ボタンを押します。

オプション・フォント・カードの削除

- (1) [削除] ボタンを押します。
- (2) 削除を確認するメッセージ ボックスが表示されます。[OK] ボタンを押すと削除されます。
- (3) [終了] ボタンを押します。

注意: フォント・カードの追加/削除はインストールされているすべての LIPS プリンタで有効になります。

[バージョン情報]

本プリンタ ドライバのバージョンを表示します。

ご使用上の注意

本プリンタ ドライバは日本語 Microsoft Windows Version.3.1 でのみ動作します。

レーザー ショットを使用するときは、プリンタの接続設定の際に [再び送信しなすまで] の値を大きめに設定する必要があります。この値を 180 以上に設定してください。

キヤノン レーザーショット LBP-B406G で印刷を行う場合、プリンタ側のジョブ タイムアウトの設定を [7分]、あるいは [180秒] 以上と設定してください。設定方法の詳細については、プリンタ付属の「操作説明書」を参照してください。

LIPSIII プリンタ ドライバでは、スケーラブル フォントを使用して印刷することができます。この場合、プリンタ側でフォント キャッシュ メモリの設定(プリンタのパネルで設定)を行うことにより、より高速な印刷が可能になります。キャッシュ メモリとは、スケーラブル フォント 使用時に一度使用したスケーラブル フォントの文字を記憶しておき、同じ文字が読み込まれる際には、そこから直接読み込むためのメモリです。なお、設定したフォント キャッシュ メモリはプリンタ NVRAM に書き込みを行った後、プリンタが再起動した時点から有効になります。設定方法の詳細については、プリンタ付属の「操作説明書」を参照してください。

プリンタが PC-PR201H エミュレーション モード状態からでも、LIPSIII プリンタ ドライバを使用して印刷することができます。印刷開始時に自動的に LIPSIII モードに移行し、印刷終了後はプリンタ側の優先動作モードで指定したモードに戻ります。

本プリンタ ドライバを使用した印刷を中断し、ほかのドライバに変更

して印刷を続けると、データ化けをおこすことがあります。印刷が最後まで終了してからプリンタドライバを変更してください。

本ドライバ Version 3.00 からフェイス名 [Dutch] [Swiss] は ANSI のフォント (英文半角のみ) になっています。シフト JIS のフォント (和文全/半角) で Dutch、Swiss を使用する場合はフェイス名 [ダッチ] [スイス] を指定してください。

5.4 NEC 製プリンタ使用時の注意事項

次のプリンタのいずれかをお使いになっている場合の注意事項を説明します。
<PC-PR1000/4、PC-PR2000/2、4、PC-PR4000/4、および PC-PR4000E/4 >

給紙について

プリンタ装置の種類により、ホッパから給紙できる用紙サイズが異なります。ホッパから給紙できない用紙を使用する場合は、手差しにより給紙を行ってください。なお手差しの方法は、使用しているプリンタのマニュアルを参照してください。

解像度について

プリンタ設定ダイアログボックスで設定した解像度と使用しているプリンタ装置の解像度が異なる場合、ビットマップ描画による印字と図形描画による印字で同じパターンを印字しても、完全に一致しない場合があります。この場合どちらかの解像度を変更し、同じ解像度に設定しなおすことにより一致させることができます。なおプリンタ装置の解像度設定方法は、使用しているプリンタのマニュアルを参照してください。

<PC-PR101 シリーズ、PC-PR201 シリーズ >

ユーザー定義サイズの用紙位置について

ユーザー定義サイズを使用する際は左端を選択して用紙をプリンタの左端にセットして印刷を行ってください。

印刷の向きを選択

用紙を横置きにして印刷したい場合、プリンタ設定の [Windows3.0 アプリケーション] を選択してください。

<NM シリーズ >

ユーザー定義サイズの内紙位置について

ユーザー定義サイズを使用する際は中央しか選択できませんが、用紙はプリンタの左端にセットして印刷を行ってください。

<PC-PR150V、N、Tシリーズ、PC-PR101/T、TN、PC-PR201/T、TCシリーズ および PC-PR350>

ディップ スイッチの設定について

ディップ スイッチは以下のように設定してください。

(*:工場出荷時設定)

全機種共通

プリンタ モード : 150V モード

印字指令コード : CR のみ *

CR の機能 : CR のみ *

はがき文書 : 通常の内紙 → はがき印字しない *

はがき文書印字時 → はがき文書印刷

(縦もしくは横)

PR150V・VH・VL、PR101/T67・/TN103

シート フィーダ : 手差しするとき→使用しない *

シート フィーダ使用時 → 使用する

PR201/T180

1行文字数の切りかえ : 136 桁モード *

PR350、PR201/TC100

縮小印字機能を使用したいときにはパネル優先機能を”あり”にして使用してください。(パネル優先時にはプリンタ内蔵フォントの指定がアプリケーション側から出来なくなるので注意してください)

プリンタ内蔵フォントの拡大文字について

プリンタ内蔵フォント(オプションカードのフォントも含む)の拡大文字はシート フィーダ使用時、および PC-PR350、PR201/TC100 では使用できません。

印刷の向きの選択について

用紙を横にして印刷するときには、プリンタ設定の以下のチェックボックスを選んでください。(PC-PR350、PR201/TC100は除く)

Windows3.0アプリケーション

このチェックボックスを選ばなければ、すべての用紙が縦方向に給紙されると見なして、印字する内容を回転して印刷します。ただしこの場合 [印刷の向き] が [横] ではプリンタ内蔵フォントは使用できません。

PC-PR150V、VH、VL、PC-PR101/T67の手差し給紙時の余白について
PC-PR150V、VH、VL、PC-PR101/T67で手差し給紙時には、印字開始位置がアプリケーションの設定値より、左へ5mmずれて印刷されます。

はがき手差し時の給紙方法について

はがきを手差しで印字するときには、はがきセッターを使用してください。(PC-PR201/T180は除く)なお、以下の機種では、はがきセッター使用時に下記のように位置をずらしてセットしてください。

PC-PR150V、VH、VL、PC-PR101/T67
正規の位置より10mm上にセット(“宛名印刷用”の上)

PC-PR101/T103、T165、TN103
正規の位置より22mm上にセット(“挿入方向”の上)

PC-PR201/T180
給紙方法で [手差し (はがき)] を選択してください。

B4用紙横方向のカラー印刷について

解像度が320x320に設定されていて、B4用紙横方向にカラーの印刷を行うと、エラーメッセージが表示されます。強制的に印字を行うとグラフィックスイメージの一部が印刷されません。

この設定で印刷を行うときには解像度を160x160に設定してください。

プリンタ側のタイムアウト禁止の設定

プリンタのデフォルトの設定では自動的にタイムアウト印字を行うようになっていますが、Windowsのアプリケーションは印刷データの処理に時間がかかることが多いため、印刷途中にタイムアウト印字を行っ

てしまいます。特に複数行同時に印刷できる機種では、インクリボンが無駄に消費してしまうので、ディップスイッチでタイムアウト印字を禁止するとよいでしょう。なお、マニュアルのタイムアウト禁止に関する項目をよく読んで使用してください。

<PC-PR601、PC-PR602、PC-PR602R、PC-PR1000、PC-PR1000/2、PC-PR2000>

ページ設定について

プリンタ設定のダイアログボックスで、はがきまたは縮小印刷を設定している場合は、アプリケーションからのページ設定はできません。

6.0 そのほかのプリンタおよびフォント パッケージについての注意事項

この節では、フォント パッケージについて、またドット マトリクス、24 ピン、EPSON の各種プリンタを使った印刷について、それぞれ注意事項を説明します。

6.1 EPSON シリアル プリンタ使用時のフォントの使い方

EPSON シリアル プリンタドライバは、これらのプリンタ モデルに内蔵されているフォント セットをサポートします。オプション フォント セットについてはフォント カートリッジを挿入して使ってください。

6.2 Bitstream Facelift 1.0 使用時のプリンタ設定の変更

アプリケーションの中には、ページ単位でプリンタの設定を変更することができるものがあります。Bitstream 製の Facelift 1.0 ソフト フォント パッケージを使う場合、複数ページの文書を印刷するときにはこの機能は使えません。

6.3 Windows 3.0x での NEC PR201 プリンタドライバとの非互換について

Windows 3.0x の PR201.DRV と Windows 3.1 の PR201.DRV では印字可能範囲が異なっています。Windows 3.0x のプリンタドライバは、1つのドライバ

ですべての PR201 シリーズをサポートするために最大の印字可能領域に合わせて作られていましたが、Windows 3.1 ではすべてのモデル、すべてのパターン（給紙方法、排紙方法など）においてマニュアル通りの正しい値が使用されるようになったために非互換が発生しました。

6.4 Windows 3.0x でのキヤノン LIPSIII プリンタドライバ (C_B406.DRV) との非互換について

Windows 3.1 のキヤノン LIPSIII プリンタドライバでは、Dutch、Swiss 書体とも ANSI 文字セットとして定義されています。Windows 3.0x において 2 バイト文字に Dutch、Swiss を使用して作成した文書を Windows 3.1 で印刷すると Dutch、Swiss 書体の文字は正しく印刷されません。「グッ」、「スイ」に置き換えて印刷してください。

6.5 プリンタケーブルについての注意事項

Windows から印刷（非 Windows アプリケーションを含む）を行う方は、Windows の起動を行う前にプリンタケーブルの接続を確認してください。Windows の起動後にプリンタケーブルの接続、変更の操作を行った場合、機種によっては正常に印刷されないことがあります。

6.6 Windows アプリケーションから印刷を行う場合の注意

本体機種によっては、Windows アプリケーションと DOS アプリケーションの印刷が競合した際に、競合エラーの画面で DOS アプリケーションを選択すると、DOS アプリケーション印刷終了後に Windows アプリケーションから印刷されない場合があります。

この場合、以下の手順で対処してください。

- ① 競合エラーの表示画面で Windows アプリケーションを選択する。
- ② DOS アプリケーションの印刷処理を中止する。
- ③ Windows アプリケーションの印刷を再開する。
- ④ Windows アプリケーションの印刷が終了したことを確認する。
- ⑤ DOS アプリケーションの印刷を再度実行する。

7.0 その他

- シリアルプリンタではユーザー定義サイズで連続用紙は使用できません。
- 大量の印刷によってハードディスクの空き容量が不足すると印字が正常におこなわれないことがあります。
- `unidrv.dll` には、アプリケーションがプリンタフォントを用いて大量に印字しようとする、途中で印字されなくなるという制限があります。その場合は TryeType フォントを使用してみてください。
- CANON LIPSIII の角ゴシック体のフォントカードは Windows ではゴシックと表示されます。
- ESC/P 系のシリアルプリンタで 360dpi の高解像度を使用し印字をおこなうと文字間隔がおかしくなることがあります。
- EPSON の一部のシリアルプリンタでは 360dpi の高解像度を使用できません。
- NEC のシリアルプリンタではシート フィーダを使用していると印字前に必ず白紙を一枚排出いたします。
- RICOH PC LASER プリンタドライバ(RPDL.DRV)ではプリンタのグラフィックスコマンドを使用することは出来ません。
- PSCRIPT のプリンタで印字結果を EPS ファイルで出力すると EPS ファイルには紙の向きの情報が出力されません。

8.0 ほかの説明ファイル

次に示す説明ファイルには、『Microsoft Windows 機能ガイド』やオンラインヘルプで解説されていない Windows 3.1 についての情報が記述されています。

説明ファイル	内容
APPS.HLP	以前のバージョンの Windows アプリケーションを Windows 3.1 用に更新するための情報について解説したものです。このファイルは、アプリケーションで Windows ヘルプを起動してから、コマンドを選んで、開くことにより、内容を見ることができます。ヘルプの使い方について、詳しくは『Microsoft Windows 機能ガイド』の第 1 章「Windows の基礎知識」を参照してください。
SETUP.TXT	Windows のセットアップ中に発生する問題について解説したものです。

README.WRI

Windows マルチメディア エクステンション 1.0 の使い方、特定のディスプレイアダプタ、システム設定、MS-DOS などについて説明したものです。また『Microsoft Windows 機能ガイド』で解説されていなかった情報もこの説明ファイルにあります。

NETWORKS.WRI

特定のネットワーク設定を使って Windows を実行するときの情報が 있습니다。

PRINTERS.WRI

特定のプリンタやフォントについての情報が 있습니다。

SYSINI.WRI

SYSTEM.INI ファイルの設定について解説したものです。

WININI.WRI

WIN.INI ファイルの設定について解説したものです。